

グループワーク（意見交換）

事前に行った就職意向調査の集計結果を基に、生徒が就職する上で特に興味・関心を持っている項目に対して、建設業の現状をお伝えし、意見交換を行いました。

Q1 給与について

A1 高卒で約20万ほど。基本給に加え、交通費、資格手当などがある。

Q2 休日や残業について

A2 入社した際に、有給休暇は10日付与され、土日、お盆休み、年末年始は休みとなる。年数が経つと有給休暇は増える。

Q3 職場の雰囲気について

A3 概ねコミュニケーションはとれていると思う。入社する際に、他人への嫌がらせや会社の雰囲気を悪くする行為は厳に慎むよう指導がある。

Q4 高校生のうちに学ぶべきこと

A4 特に数学。建設業では数字をよく使う。微分、積分、三角関数など。また、敬語の使い方を学んでおくといよい。

Q5 土木の仕事のやりがい

A5 一番やりがいを感じたのは災害が起きたとき。東日本大震災では休みなしで復旧作業等に追われた。しかし、街の人に感謝されたり、自分たちの活動が写真や地図に残り、成果が目に見えて感じられた。

<座談会の様子>



<生徒からの感想>

座談会に参加したことで、仕事に対する責任感や積極性の重要性について深く考える良い機会となった。また、自分の行動一つが会社全体にどのような影響を与えるかという点は、日常生活では見落としがちな重要な視点だと思う。座談会の経験を通して学んだ責任感や積極性を大切に、これからの進路活動につなげていきたい。

<鈴木科長講評>

本校は、相双地区で唯一土木を学べる場所。ここで学んだことが、地域に貢献する力となると信じている。生徒が地元に残り、地域を守る担い手となることを願っているが、これはあくまで一つの選択肢に過ぎない。座談会を通じて、さまざまな視点から土木の魅力を知ることができたと思う。また、これからの高校生活でどんなことを学ばばよいか色々教えてもらったと思う。聞いて終わりではなく、行動に移し、来年の3月には希望する進路に笑顔で卒業できるよう、残り一年しっかり取り組んでほしい。

